

ハエによるウイルス侵入に 注意してください！

鹿児島県出水市でオオクロバエから高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

ハエは動物の死体を食べる習性があり、農場や鶏舎内へウイルスを運ぶ感染経路の一つと考えられます。

衛生害虫対策を徹底してください！

オオクロバエ

- ・暗青藍色の大型のクロバエ(体長10～15mm)
- ・嗅覚に優れ飛翔能力が高い(1日に約1.8km)
- ・成虫は晩秋と初春(寒い時期)に活発

※2004年に発生農場周辺の個体からウイルス分離事例あり



クロバエ類の家きん舎内への進入防止について

○死亡家きんを舎内等に放置しない

死亡鶏は速やかに畜舎内から出し、密閉容器で保管しましょう。

○家きん舎の粘着シートの設置や、金網や防鳥ネット(吸気口)へ殺虫剤散布などの対策を行う

10月～4月は、最低でも月に1回は殺虫剤で処理しましょう。

集糞ベルトの出口等の対策も忘れずに！

日頃から殺虫、消毒を実施しましょう。

異常をみつけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108

夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005・090-5544-7868